

平成31年4月10日

各位

株式会社 CotoIT
代表取締役社長 植木進司

Vtuber「牡丹きい」 お詫びとご報告

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。このたびは当社の Vtuber「牡丹きい」の今回の騒動におきまして皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけしたことを誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

Vtuber 牡丹きいの今回の騒動に至った経緯ならびに今後の対応につきまして下記の通りご報告いたします。

1. 概要・内容

Vtuber「牡丹きい」において、株式会社 CotoIT（以下「弊社」という）の牡丹きい演者（以下「牡丹きい氏」という）と弊社運営との間で適切なコミュニケーションが図れておらず、1月3日の牡丹きい氏による Twitter での発言にはじまり、弊社運営の判断ミスなどにより、皆様に不愉快な思いをさせたとともに、視聴者の皆様、コラボを予定していた Vtuber の皆様、スポンサーの皆様、関係各社様に多大なご迷惑、ご心配をおかけしました。本来であれば、弊社運営と牡丹きい氏の間で解決すべき事項であり、皆様へ拡散する形で進んでしまったことを、謹んでお詫び申し上げます。

また、解決までに時間がかかり、皆様をお待たせする結果となったこと、運営の判断で謝罪動画を出したにも関わらず、説明不足や収録の態度が悪かったことなどにより、状況が意図しない方向に推移してしまい、騒動が収束せずむしろ加速させてしまったことにつきましても、併せてお詫びいたします。申し訳ございませんでした。

2. 今後の対応

本報告書にて皆様へお詫びし、付記にて経緯等のご説明を実施させていただいた上で、Vtuber 牡丹きいの今後の活動については下記の対応とする予定です。

- ・牡丹きい氏は、これまで通り Vtuber 牡丹きい演者として活動を継続する
- ・弊社は、弊社が保持する Vtuber 牡丹きいに関する一切の権利ならびに、弊社が行っていた運営活動について牡丹きい氏に譲渡を行う
- ・上記実施することで、今後の Vtuber 牡丹きいの活動は牡丹きい氏自らが一括して行う

上記の通り、弊社は運営を離れますが、Vtuber 牡丹きいにつきましては、継続活動を行っていく方針ですので、皆様には今後も変わらぬご支援をいただけますと幸いです。この度は大変申し訳ございませんでした。

以上

付記事項

付記1：契約について

弊社と牡丹きい氏の契約は、牡丹きいの演者として一部業務を委託し「業務委託契約」という形で成立していた。(弊社にて牡丹きい氏を雇用する形態ではない)

Vtuber 牡丹きいのキャラクターや運営については、基本的には弊社にて管理していた。

<契約書類>

書面に残す運用はしておらず、記録の残るメッセージチャットと音声通話とで行っていた

<役割分担>

弊社運営：牡丹きいの構築ならびに Vtuber 牡丹きいの運営 (CD デビュー・IRIAM 活動・企画等での他社様との渉外、商品販売等の調整 など)、Youtube 動画の作成掲載、ミュージックビデオの作成・楽曲の MIX 実施

牡丹きい氏：Vtuber 牡丹きいのキャラ付け、演者として声と動作をつけた動画収録業務、歌の収録業務ならびに、コラボや Twitter (※) などでの対外的な窓口などの実施

※Twitter アカウントについては、弊社で作成し、牡丹きい氏と共同運用する形で権限を渡していた

付記2：報酬についての契約ならびに支払い履行について

報酬額については下記のルールで運用しておりました

・支払い時期：

月初め (毎月 5 日～10 日の間で計算して支払い)

・報酬金額：

前月の全活動 (※) での入金分の 50%

(※) Youtube、SHOWROOM、IRIAM、BOOTH、各サイトでの投げ銭

(※) BOOTH のボイスグッズは 1 2 月以降、牡丹きい氏の取り分を 70%としていた

・最低保証額：

報酬金額が入金額の 50%に満たない場合は、最低保証額を支払いすることとしていた。

なお、最低保証額は契約時に設定しており、活動が進んだ 12 月に相談があったため、

12 月以降は金額アップを実施している。

・実費：

コラボなどで外部への移動が必要となる場合は、上記とは別に実費精算として、

支払い時には交通費と日当を加算して支払いとすることとした。

※2018 年 8 月の活動開始以降、上記運用にて毎月滞りなく支払いを実施しています。

付記3：本文書作成の経緯

本謝罪文書は、Twitter やチャット等のやりとりをとりまとめ、第三者 (弁護士等) を交えて状況整理を実施したうえで、牡丹きい氏にそれらの内容に間違いがないことを確認いただく段取りを確実にいき、作成しています。

付記4：経緯

2017/06：

前身となるチャンネルの運営開始

2018/07：

Vtuber 活動準備のために、前身のチャンネルの全動画を削除

2018/07：

牡丹きい氏と弊社の間で業務委託契約を締結

2018/08：

Vtuber 牡丹きいイラスト完成

Vtuber 牡丹きいの 2D アバターが完成

Vtuber 「牡丹きい」活動開始、仮始動

牡丹きい Twitter アカウントを作成

牡丹きい氏に、牡丹きい Youtube チャンネルの権限を付与

牡丹きい氏に、Twitter アカウントの権限を付与する

(ID・パスワードを共有し共同運営を前提とした)

2D モデルでの活動開始

SHOWROOM での活動開始

2018/09：

3D モデルを追加した活動を開始

サブチャンネル「牡丹きい Games」の立ち上げ

他 Vtuber 様とのコラボ企画を開始

2018/11：

IRIAM での活動を開始

2018/12：

CD デビューに向けた活動を開始（資金調達：クラウドファンディングを想定）

フォートナイトのゲーム実況に向けて活動を開始

※牡丹きい氏と、CD デビューに向けた企画であるため現時点ではビクトリーロワイヤルを取らないこと、肉体的精神的に無理をしないことを条件として進めることとした

2018/12/11：

CD デビューとフォートナイトの企画についての予告動画を公開

2018/12 下旬：

Youtube から、牡丹きいメインチャンネルの収益化が承認される

※以降、スーパーチャット（スパチャ）が可能となった

2018/12/29：

ゲーム実況（フォートナイト）実施

2019/01/03 19:30頃:

牡丹きい Twitter アカウントで 「きい、ずっときいのままでいたい。～」といった活動停止の可能性などについてのツイートが実施される

※合わせて、牡丹きい氏により Twitter アカウントのパスワード変更がなされたため、
弊社は TweetDeck を使用して支援していくこととなった。

最初に発信されたツイート 2 件を弊社運営が確認し、今後の活動を懸念し緊急削除を実施。
念のため、暫定処置として Youtube アカウントから、牡丹きい氏の権限を削除した。

牡丹きい Twitter アカウントで 「パパに無理やり先ほどのツイートを消されました～」から始まる、過重労働・報酬・運用等の情報に関するツイートが実施される。

追加ツイート 6 件を確認し、今後の活動を懸念し、緊急削除を実施。

※以降、弊社運営にて緊急削除したツイートはなし。

※以降、随時牡丹きい氏より Twitter にて情報開示がなされる。

2019/01/03 22:30頃:

弊社関連企業様などに問い合わせ等があることが判明したため、弊社運営から、「牡丹きい TWITTER に関するお詫びとご報告」の文書を Twitter に掲示する形でツイート

直後にツイートが削除されてしまったため、弊社にて以前使用していた運営用 Twitter アカウント (@BKeyGamesManagement) にて、上記文書の再ツイートを実施。

合わせて「牡丹きい Twitter アカウント」でリツイートを実施する。

2019/01/03-04:

運営用アカウントが「なりすまし」であるという嘘の情報が流れたため、混乱を避けるために、「運営用 Twitter アカウント (@BKeyGamesManagement)」を削除。

※一時、牡丹きい氏からのツイートに、「運営が監視ソフト（アプリ）を勝手に入れていた」と捉えられる記載がありましたが、TweetDeck でのアカウントリンクのことであり、運営が牡丹きい氏の端末に何らかのソフトを入れていたという事実はありませんでした。

2019/01/09:

弊社から「株式会社 CotoIT 名義の Twitter アカウント」にて、今回の騒動のお詫び、説明動画公開のお知らせなどのツイートを行う。

合わせて「牡丹きい Twitter アカウント」でリツイートを実施する。

2019/01/09 :

何者かの手により、「牡丹きい Twitter アカウント」の設定が変更される

アイコン画像

「牡丹きい」から、

「弊社 代表取締役社長 植木」の画像に差し替わる

アカウント名

「牡丹きい+●今日はお休み (@bkeygames)」から

「牡丹きい運営植木信詞」に変更される

何者かの手により、動画の予告ツイート並びに、手書きの謝罪文書の掲示がなされる

2019/01/09 20:00 :

牡丹きい Youtube チャンネル上で、弊社代表取締役社長植木による謝罪・釈明動画を公開する

合わせて「株式会社 CotoIT 名義の Twitter アカウント」にて、上記のアナウンスを行う

2019/01/09_10 :

弊社から牡丹きい氏に、Twitter アカウント画像等についての確認をしたところ、

「第三者によるものである」とのことであったため、ツイート削除を実施、

アイコンとアカウント名の変更を牡丹きい氏に依頼する

2019/01/10 昼過ぎ :

牡丹きい Twitter アカウントの設定が戻る

同時に、今回の騒動にかかわるツイートが削除される

付記5：弊社にて実施した「牡丹きい Twitter アカウント」での操作

弊社運営と牡丹きい氏との共同管理の前提で運用していた「牡丹きい Twitter アカウント」について、2018/01/03 以降に弊社運営が行った操作は以下の通りです。

<ツイートの実施：1件>

2019/01/03：「牡丹きい TWITTER に関するお詫びとご報告」の文書ツイート

理由：騒動が発生し、関係各社にご迷惑をおかけしている状態であったため、
早急に謝罪と説明をする必要があったため

※当該ツイートは直後に削除されたため、もともと存在していた運営用 Twitter アカウント (@BKeyGamesManagement) にて、再掲載を実施した。

<ツイートの削除：10件>

■牡丹きい氏が発信したツイートの削除

2019/01/03（8件）：牡丹きい氏が最初に投稿した、今回の騒動の発端となったツイート

理由：当該騒動発生ツイートであり、今後の Vtuber 牡丹きいの運営に不利益になることが
明確だったため、緊急措置として削除を行った。

■弊社によるツイートではなく牡丹きい氏もツイートしていないとしているツイート

2019/01/09（2件）：弊社になりすまして投稿されたツイート

理由：弊社になりすましてツイートがなされている状況であり、
弊社名や代表者名の記載も誤っており、Vtuber 牡丹きい並びに弊社にとって
不利益になることが明確だったため。

<リツイートの実施：4件>

2019/01/03（1件）：運営用アカウントから本件のお詫びと説明をしたツイートをリツイート

2019/01/09（3件）：弊社アカウントから本件のお詫びと動画告知をしたツイートをリツイート

理由：運営として、視聴者・関係者各位へのお詫びと説明・告知をする必要があったため

<上記以外の操作>

1月3日の騒動発生以降、「牡丹きい Twitter アカウント」に対し、本項目で記載した以外の操作は、弊社では行っていない。

※特に「画像を弊社代表取締役社長植木のものへの変更」、「アカウント名を弊社代表取締役社長植木名への変更」ならびに「手書きの謝罪文の公開」などは行っていない状況。

以上